

令和 8 年 度

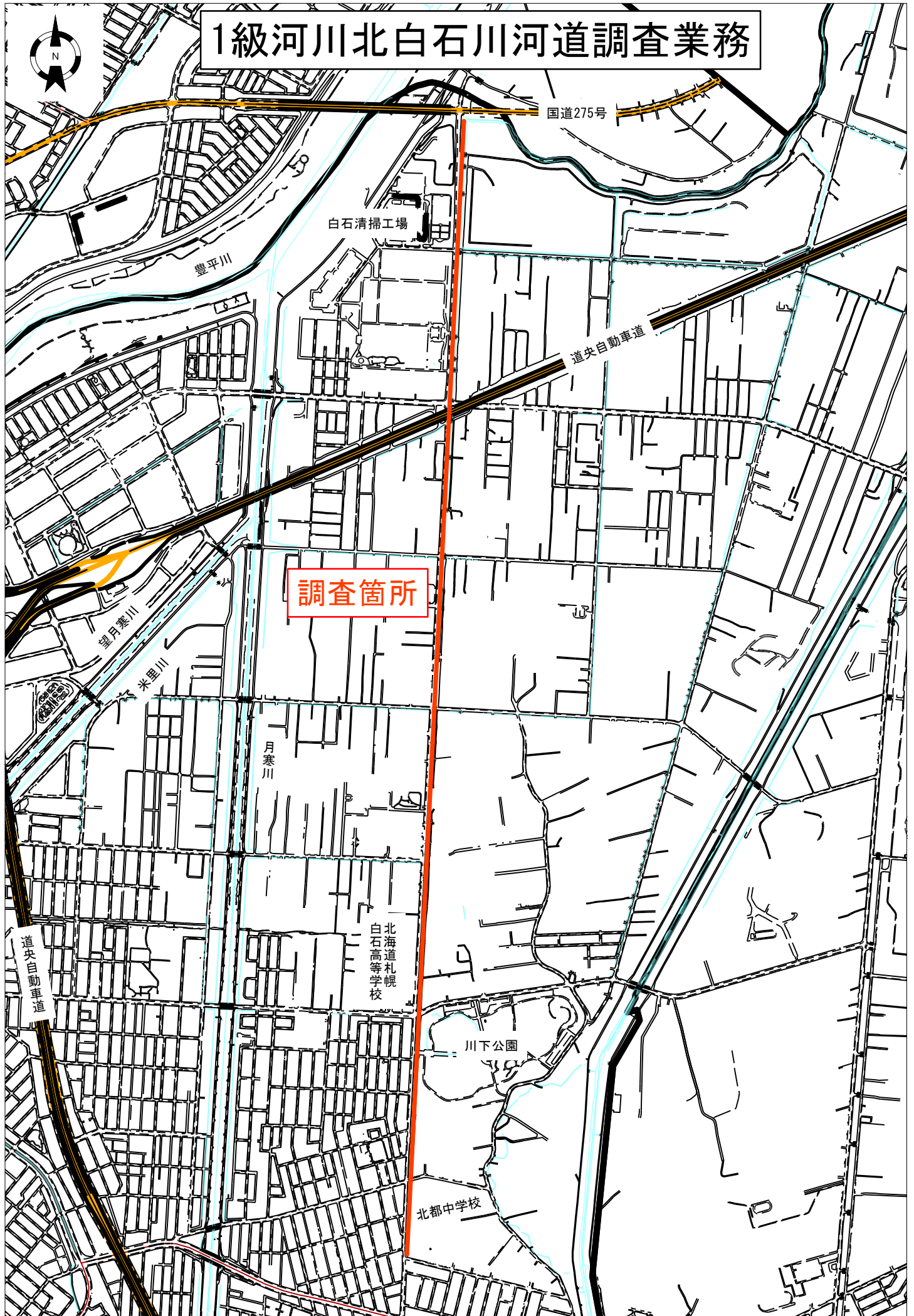
業務設計書（公示用）

業務名： 1級河川北白石川河道調査業務

令和 8 年 8 月 単価適用

下水道河川局 事業推進部 河川事業課 河川工事係

1級河川北白石川河道調査業務



()	業務名	1級河川北白石川河道調査業務
-----	-----	----------------

1. 積算金額

区 分		設計金額 (円)
業 務 委 託 費		
内 訳	業 務 価 格	
	消費税相当額	

業務説明書

1. 概要

路線測量	一式	4.20km
河川測量	一式	4.20km
土質調査試験	一式	3検体

2. 場所 札幌市白石区川下749番55地先

3. 期間 契約書に示す着手の日から令和 9年 2月26日までとする。

4. 図面 _____

5. 仕様書 札幌市土木設計業務共通仕様書、札幌市土木工事共通仕様書、札幌市土木工事標準設計図集、北海道河川事業設計要領、その他関係する指針・要領、別添特記仕様書による。

6. 特記仕様書 別添のとおり。

特記仕様書（応用測量）

1 測量目的

本業務は、現況測量を行い工事発注等に必要な現況図を作成するものである。

2 調査内容

本業務の測量内容は下記の表のとおりである。

No.	分類	項目	詳細条件	数量	単位
1	路線測量	線形決定	条件点の観測	37	点
		仮BM設置測量	3級水準測量観測と同等	4.20	km
2	河川測量	作業計画		1	業務
		現地踏査		4.20	km
		河川定期縦断測量	直接水準	4.20	km
		河川定期横断測量	直接水準（平地）	85	本
		立木調査		0.9	ha
6	打合せ	打合せ協議	中間打合せ1回	1	業務

測量にかかわる変化率については下記の表のとおりとする。（参考）

※本業務の対象は、該当欄の○印が付いている項目とする。

地形			
平地	丘陵地	低山地	高山地
○	—	—	—

地域						
大市街地	市街地甲	市街地乙	都市近郊	耕地	原野	森林
—	—	—	—	○	—	—

3 成果品について

- 1) 各種野帳
- 2) 現況平面図（敷地界記入）及び縦断図（電子媒体）
- 3) 横断図（電子媒体）
- 4) 業務日誌
- 5) 写真帳
- 6) 調書

計算簿・資料図・立会簿等は、納品箱（当課指定）に納め、業務名・測量年月日・委託測量会社名を記入の上、納入すること。

4 電子媒体による成果品の納入について

1	図面は業務担当者と協議の上、電子媒体（CD-R）によるものを納入すること。
2	図面データの形式は可能であればdwg形式が望ましいが、詳細については業務監督員と協議の上決定すること。
3	成果品の提出の際には、電子納品チェックシステムによるチェックを行い、エラーがないことを確認した後、ウイルス対策を実施したうえで提出すること。

5 特記事項

1	本業務の測量起点・終点及び範囲等については、監督員と協議し決定すること。
2	測量範囲外においても、測量範囲に隣接した高さに大きな変化点ある場合には、その変化点までの測量を行うこと。
3	測量範囲にある、工事支障物件（地上物・地下埋設物）と考えられるものについては、平面図に位置を記載し、現況写真を撮影すること。
4	測量範囲にある民地等の境界杭（石標・木杭等）については、平面図に位置を記載し、現況写真を撮影すること。
5	過年度竣工図等の資料については着手後に貸与する。

特記仕様書（土質試験）

1 調査目的

本業務は、工事により発生する汚泥の搬出先検討にあたり、必要なデータを得るために重金属等含有量・溶出量試験を行うものである。

2 調査内容

本業務の調査内容は下記の表のとおりである。

No.	項目	詳細 1	詳細 2	数量	単位
1	溶出量試験	溶出液作成料(前処理費)	－	3	検体
		カドミウム	－	3	検体
		六価クロム	－	3	検体
		シアン	－	3	検体
		総水銀	－	3	検体
		アルキル水銀	－	3	検体
		セレン	－	3	検体
		鉛	－	3	検体
		砒素	－	3	検体
		ふっ素	－	3	検体
		ほう素	－	3	検体
		ポリ塩化ビフェニル(PCB)	－	3	検体
2	含有量試験	カドミウム	－	3	検体
		六価クロム	－	3	検体
		シアン	－	3	検体
		総水銀	－	3	検体
		セレン	－	3	検体
		鉛	－	3	検体
		砒素	－	3	検体
		ふっ素	－	3	検体
		ほう素	－	3	検体

3 成果品について

- 1) 各試験結果の試験表及び試験結果を提出すること。

4 特記事項

1	各調査・解析方法については、業務計画書に記載し、監督員の承諾を得ること。
2	調査位置については、現地条件及び既存周辺資料等を勘案の上、監督員と協議し決定すること。

特記仕様書（護岸設計）

1 設計目的

本業務は、現地踏査・測量結果に基づき、工事発注に必要な数量を作成することを目的とする。

2 設計概要

本業務の設計内容は下記の表のとおりであり、各項目の詳細については「3 詳細内容」に示す。

No.	項目	工種・詳細	数量
1	護岸予備設計	設計延長 4.2km	一式
2	数量計算	-	一式

3 詳細内容

【護岸予備設計】

No.	工種	種別
1	護岸予備設計(片岸)	施工法検討

【数量計算】

No.	工種	種別
2	概算工事費算出（準用）	擁壁・補強土予備設計

納入成果品

1)	報告書	製本 1部
----	-----	-------

特記事項

1	詳細な河川条件等については、着手後監督員と打合せること。
2	既設の護岸との摺り付け方法等について検討すること。
3	浚渫工事の施工方法等について検討すること。

業 務 着 手 届

年 月 日

札幌市長 秋元 克広 様

(住所)

受託者

(氏名)

下記業務（役務）は 年 月 日着手したのでお届けします。

記

1 役務番号 第 号

2 役務の名称

様式 5 主任技術者等指定通知書（役務用）

主任技術者等指定通知書		
年 月 日		
札幌市長 秋元 克広 様		
(住所)		
受託者		
(氏名)		
役務番号	役務の名称	
上記業務（役務）に係る主任技術者等を次のとおり定めたので、別紙経歴書を添えて通知します。		
区 分	氏 名	備 考

- ・ 「区分」欄には、業務内容に応じ「主任技術者」、「主任設計者」、「照査技術者」等と、それぞれ記載すること。
- ・ 共同企業体の場合は、各技術者等の所属会社名を「備考」欄に記載すること。
- ・ 技術者等と請負人との直接的かつ恒常的な雇用関係を確認できる書類を添付すること。

(別紙) 技術者経歴書 (役務用)

※ 主任技術者 主任設計者 主任監理者 設備資格者 照査技術者 経歴書				
現住所				
氏名			生年月日	年 月 日
最終学歴	卒業年月	学校名		専攻学科
	年 月			
職歴	年 月	入社 (年 月退職)		
	年 月	入社		
技術資格	年 月			取得No.
	年 月			取得No.
主要業務経歴	業 務 名		受託金額 (千円)	履行期間
	直前1年分			年 月 年 月
				年 月 年 月
				年 月 年 月
	直前2年分			年 月 年 月
			年 月 年 月	

注1) ※印の項目については、該当するものを○で囲むこと。

注2) 最終学歴は、小学校、中学校、高等学校、短期大学、大学又は高等専門学校のいずれかを記載し、専修学校、各種学校等は記載しないこと。

業 務 日 程 表

年 月 日

札幌市長 秋元 克広 様

(住 所)
受託者
(氏 名)

下記業務（役務）について、別紙日程をもって履行します。

記

- 1 役務番号 第 号
- 2 役務の名称
- 3 履行期間 着 手 令和 年 月 日
完 了 令和 年 月 日